

第58回

社会貢献者の記録



公益財団法人
社会貢献
支援財団

第 58 回

社会貢献者の記録

目次

社会貢献者表彰とは	004
表彰選考委員プロフィール	006
式典次第	007
会長挨拶	008
来賓祝辞	010
記念写真	012
表彰式スナップ写真	013
受賞者代表挨拶	020
乾杯のご発声	022
祝賀会スナップ写真	024
受賞者手記 目次	028
対談	090
資料編	100

社会貢献者表彰とは

国の内外を問わず、社会と人間の安寧と幸福のために貢献し、顕著な功績を挙げられながら、社会的に報われることの少なかった方々を表彰し、その功績に報い感謝することを通じてよりよい社会づくりに資することを目的とする。

第58回社会貢献者表彰の概要

【募集告知】

2021年8月より、ダイレクトメール発送、雑誌等への告知広告、当財団ウェブサイト等にて

【対象となる功績】

社会貢献の功績

【候補者について】

- 候補者には、年齢・職業・性別・信条・国籍等の制限はない
- 日本で活動する方、もしくは海外で活動する日本人を対象とする
- 候補者は、同種の功績により当財団の「社会貢献者表彰」を受賞されていない方とする
- 候補となった功績と同一または同種の功績により、既に国の栄典（叙勲、褒賞）または大臣表彰等を受賞されている方は、選考の際、後順位とされる

【選考について】

選考委員会開催日：2022年1月28日

【受賞者】

受賞者：29組

【表彰式】

開催日：2022年12月5日 帝国ホテル東京

受賞者には表彰状、副賞として日本財団賞（賞金100万円）を贈呈する

奨励賞

過去に社会貢献者表彰を受賞され、顕著な活動を継続されている方々の中から、用途が明確な事業等に対し、当財団の運用益から賞金300万円を贈呈している。

【受賞者】 3組

社会福祉法人 風舎（平成25年度受賞者 宮崎県）

パン焼き溶岩窯の購入費用

ベトナム育英会（第46回受賞者 佐賀県）

ベトナム ティエン・フック・ニャン・アイ障害児施設にプールの建設費用

NPO 法人 Baby ぽけっと（第49回受賞者 茨城県）

特別養子縁組真実告知のシンポジウム、全国にいる縁組家族の交流会開催費用等

日本財団特別賞（2022年度 新設）

過去に社会貢献者表彰を受賞した団体や個人に行ったアンケートの回答を元に、要望のあった物品購入などに対し、支援を行うもの。

【受賞者】 4組

NPO 法人グローバルギフトネット（平成26年度受賞者／東京都）

支援先のフィリピンの貧困家庭の青少年7人が大学に通うための学費一年分

大洗・サーフ・ライフ・セービング・クラブ（平成27年度受賞者／茨城県）

大洗町観光の車椅子ユーザーにおける実証実験・電動車椅子購入費

牧野博子（第51回受賞者／大阪府）

里親メンター事業で得た研修情報と事例集、知恵袋の機能を持つアプリの開発費用

NPO 法人光希家（屋）（第56回受賞者／秋田県）

居場所「ふらっと2」で使用するパソコン、備品等の購入費

表彰選考委員プロフィール(五十音順)

委員長



脚本家 東北大学相撲部 総監督

内館 牧子

脚本：「ひらり」「てやんでえッ!」「私の青空」「毛利元就」「エイジハラメント」ほか多数

著書：「終わった人」「今度生まれたら」ほか多数

委員



元国税庁長官

認定 NPO 法人ベトナム簿記普及推進協議会 名誉会長

大武 健一郎

著書：「平成の税・財政の歩みと21世紀の国家戦略」「税財政の本道一
国のかたちをみすえて」ほか多数

委員



産経新聞 東京本社 編集局 編集長

小川 記代子

委員



iU 情報経営イノベーション専門職大学 教授

久米 信行

著書：「メール道」「ブログ道」(NTT 出版)「NPO のための IT 活動講座 効果が上がる情報発信術」「すぐやる人だけがチャンスを手に入れる」ほか多数

委員



ノンフィクション作家 公益財団法人民間放送教育協会 会長

吉永 みち子

「ワイド!スクランブル」コメンテーター

著書：「気がつけば騎手の女房」「性同一性障害」「26の生きざま」「老いの世も目線を変えれば面白い」「試練は女のダイヤモンド」ほか多数

式次第

第一部 表彰式

10：30…開 式

- ・ 会長挨拶
- ・ 選考委員紹介
- ・ 表彰状並びに副賞の贈呈
- ・ 受賞者代表挨拶
- ・ 日本財団特別賞の発表
- ・ 来賓祝辞

12：20…閉 式

第二部 祝賀会

12：30…開 宴

- ・ 乾杯のご発声
- ・ 奨励賞の贈呈

13：30…閉 会

(2022年12月5日 於帝国ホテル東京 本館3階 富士の間)

会長挨拶

社会貢献支援財団の会長を務めております安倍昭恵でございます。

本日は第58回社会貢献者表彰式典を開催するにあたりまして、受賞者を推薦くださいました皆様、また日本財団はじめご協力をいただいております関係各位に厚くお礼を申し上げます。



本日は29件の表彰をいたしますが、受賞者の皆様、そしてその活動を支えていらっしゃるご家族はじめ関係者の皆様、おめでとうございます。心より敬意を表しますと共にお祝いを申し上げます。

私は、この財団の会長に就任以来、皆様の素晴らしい活動を拝見して参りましたが、初めての試みとして先月に神戸市でDV被害の家族の保護や、自立に向けたサポートを行っている「NPO法人 女性と子ども支援センター ウィメンズネット・こうべ」、前橋市でDV・虐待・性被害等で傷つけられた女性や子どもへ支援活動を行っている「NPO法人 ひこばえ」そして大阪市の西成区で、貧困・ネグレクト・不登校・役所も居場所を特定できない未就学の子どもなどに食事を提供する「NPO法人 西成チャイルド・ケア・センター」の3団体の方々に集まっていただきまして、更に活動を活性化させるための情報交換を主とした研修会を開催いたしました。

その中で、皆さんいずれもが、コロナ禍の厳しいなかにも拘らず、更に活動を拡大されようと頑張っている様子を拝聴し、本当に頭が下がる思いがいたしました。

本日お集まりいただきました受賞者の皆様もそのようなお気持ちの方ばかりでいらっしゃると思います。行政に頼るのは難しい、しかし当事者間では解決できない実情に皆様の手を差し伸べてくださいます。今後とも少しでも明るく住みよい社会になりますよう引き続き力をお貸しくくださいますようお願い申し上げます。

私も受賞者の皆様の活動には日々、力をいただいております。今後も当財団の会長として精一杯務めさせていただきたいと存じますのでよろしくお願い申し上げます。

最後に受賞者の皆様の活動の一層の拡大と発展とともに、本日までご出席いただきました皆様のご健勝をお祈りし、挨拶いたします。

公益財団法人社会貢献支援財団
会長 安倍 昭 恵



来賓祝辞

ご紹介賜りました日本財団会長の笹川陽平です。本日は永年のご労苦が表彰の対象となり、皆さんの活動をつぶさに聞かせていただき、また、ビデオをお見せいただき大変心強い気持ちになりましたのと同時に、ご労苦に心より感謝申し上げます。



安倍昭恵会長がリーダーシップをとられ、これまでの表彰に加えて、外国人の方々が日本で活動されたり、或いは、東南アジアを中心に活躍されたりしている日本の方なども表彰の対象に加えていただきました。また、安倍会長は自ら表彰を受けられた方々の活躍する現場を訪問されているとも伺っています。社会貢献支援財団の表彰を通じて皆さまを激励し、そして仲間を増やしていただいている安倍会長、評議員、理事、そして選考委員の方々に改めて感謝申し上げます。

戦後70年以上が経過し、日々の報道を見ておきますと、悲しいニュースも数多く見られます。また、戦後民主主義の中で、ともすると権利の主張ばかりする時代になったかのようにも見えるかもしれません。しかし、本日表彰を受けられた方、そして候補に上った方を含めると、単に権利の主張だけでなく社会の為に何が出来るのか、或いは社会の一員として誰かの為に自身の時間とお金を使いたいという方が沢山おられることも承知しています。

多様な社会課題がある現状の日本国を見れば、これをすべて政府、地方自治体で解決できるものではありません。多様化する社会の中で、ともすれば見落としがちな人に手を差し伸べて下さっている皆さまを中心とした輪がもっと日本中に大きく広がるために、更なる活躍をお願いしたいと思います。

日本財団では「18歳の意識調査」を毎月行っています。残念ながら、今日の日本には深刻な問題が数多くあります。1つ2つ例を挙げれば、18歳未満の死亡率の1番は交通事故や病気ではなく、自ら命を絶つ自殺です。自殺が死亡率の1位というのは世界でも日本だけではないでしょうか。また、我々の調査によれば、小学生の100人のうち、何と、34人が親の虐待、難病、長期欠席、引きこもり、ヤングケアラーなど、

何らかの課題を抱えた子どもたちです。果たしてこれからの未来を背負う若者たちがこの状態でよいのでしょうか。

皆さんの素晴らしい活動に代表される助け合いの精神は日本人が古来より持ってきた特質ですが、もしかすると近代化の中で忘れられてきている側面もあるかもしれません。しかし、表彰された皆さんのように、しっかりとした種を持ち、根を張って社会の為に活動されていらっしゃることも本日知りました。まだまだ日本は捨てたものではありませんし、皆さんの暖かい心遣いや思いやり助け合いの精神を、社会貢献支援財団を中心に、日本そして世界に広げていただきたいと思います。

日本財団は多様化する社会の中で、忘れがちなこと、忘れられつつある人々、様々な悩みをもって人生に行き詰まりを感じている方の支援のための活動をしております。この表彰を機に、更に活動を拡大するために、是非、日本財団にも相談してください。

素晴らしい日本人の心を全ての日本人に伝え、未来を背負う子どもたちに健全な教育と環境を与え、伝統ある日本国が再生する中核として皆さんには引き続き活躍いただきたいと思います。改めて表彰に祝意を表すると同時に、感謝の誠を捧げます。

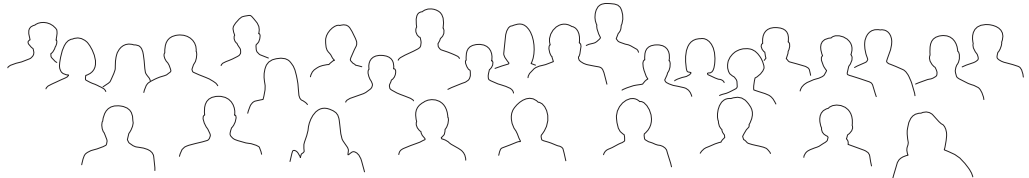
長い間ご苦勞様でした。これからも引き続き宜しくお願い申し上げます。ありがとうございました。

公益財団法人日本財団
会長 笹川陽平

記念写真



社会貢献支援財団 **第58回 社会貢献者表彰式典** Supported by



- | | | | | | | | | | | |
|---------------------------------|------------------------|------------------------------|-------------------------------|---------------|-----------------------|---------------------------|-----------------------|---------------------|---------------------------|------------------------|
| ベトナムの子ども達を
支援する会
関谷 滋 | BLT子ども協賛
一條 りか | 山田 真人
聖母 | DARFHEMO
HEIRO
内山 順子 | 森下 誠 | 田中 夏生
Tereis | 杉本 啓一
旭川保健会 | 鈴木 ころも
愛媛県健康福祉支援機構 | 山崎 浩 | 海老原 周子
Kurivosa | シニアII国際保健力市民の会
仲佐 保 |
| アトリームアケイ
INTERNOKYO
掛江 直子 | 岩朝 しのみ
日本子ども支援協会 | 相澤 裕二
旭川のちの電話 | 佐伯 昭夫 | 大野 美雄
しらかじ | 渡辺 豊博
グランウドワーク三島 | 河野 宏範
テキストラボ
あひつしドレ | 三宅 晶子
ヒューマン・メディア | 徳田 竜之介
さくらわらび 代理 | 稲葉 耕一
長島 奈良を結ぶ会
架け橋 | |
| 札幌微助人倶楽部
児玉 芳明 | 吉武 ロドヲ
大分県フィリピン友好協会 | 山下 健治
ガイドボランティア
サークル風世 | 歌 一洋
四国八十八ヶ所へ口小屋
プロジェクト | 安倍 昭恵
会長 | 京井 和子
グリーンサポートやまぐち | 飯村 孝文
日光茅ホツチの会 | 高橋 治子
丹波漆 | 富永 幸子
窪田 祥吾 代理 | | |

表彰式





58回社会貢献者表彰式典 Supported by











受賞者代表挨拶

フィリピンの恵まれない子供達や国内の助けの手が必要なフィリピン人の為に活動しております、大分県フィリピン友好協会会長、吉武ロドラと申します。この度は大変名誉な賞を賜り、心から感謝申し上げます。

大分県フィリピン友好協会は1995年の阪神淡路大震災をきっかけに設立されました。フィリピンでは地震は滅多に起こりません。異国の地で大地震に襲われた同じフィリピン人の気持ちを思うと矢も盾もたまらず食糧支援をしようと決意したのですが、自分一人の力では限界があります。幸いなことに被災地の同胞を助けたいと思うフィリピン人は多く、それぞれの家族や伝手を頼った結果、お米など想定より多くの食糧が集まり支援に成功しました。一人で出来る事は小さくても集まれば大きな力になる。そう実感し、友好協会の会員と共に大分県内とフィリピンを中心にボランティア活動を開始しました。

フィリピンでの活動は主に食糧・物資支援や医療支援、そして貧困世帯の生活改善です。日本は四季があり、物に溢れた豊かな国です。夏物は一年の内3か月しか使わず、子供ともなればサイズアウトでそれきり使わない事も多々あります。サイズの合わない服や擦り切れそうなサンダルか裸足で駆け回る恵まれない子供達の手には渡れば、捨てられる筈の衣料品でどれだけ喜ぶだろう。そんな思いから会で集めたまだ使える綺麗な衣料品を恵まれない子供達に寄付すると、どの子供も輝くような笑顔で嬉しそうに受け取ります。自分のサイズの自分だけの服や靴がある事が嬉しいと語る小さな子供達に、一度きりの支援ではなくもっと出来る事はないだろうかという思いは強まる一方でした。

必要なのは一度で終わる寄付ではない、根本的な生活改善です。

そこで大分高専さんのご協力のもと、始まったのが貧困地域への足踏みミシン寄付活動でした。電気代どころか子供の小学校の学費も払えない家庭では、電気代の要らない足踏みミシンは大変有難い存在です。ミシンと元手となる布や糸の寄付と同時に使い方と修理方法を教え、更に販路開拓のサポート、地域の顔役の方や神父様の協力



の元経過をチェックすることできちんと生活改善に漕ぎ着けられました。寄付から一年後、嬉しそうに子供を小学校へ通わせられるようになりましたと報告してくれたお母さんの顔は今でも忘れられません。火山の噴火で致命的な被害を受けた農村部からレイテ島の津波被害を受けた漁師町と様々な地域で行っている足踏みミシン寄付活動ですが、奇しくもコロナ禍をマスクの制作販売で乗り切れたという報告を聞いた時には活動していて良かったと思いました。

また、言葉の拙さや文化の違いから深刻な悩みを抱える在日フィリピン人の多さから、毎月のタガログ語無料相談会や出張パスポート更新、交流イベントの開催などを行って来ました。中でも働く意欲が強いにも関わらず正社員になれない相談者は特に多く、後期高齢者社会で人材不足の日本社会で何とか活躍できるようにならないかと思ひ、様々な方のご協力のもと、無料で日本語を学ぶプロジェクトを開始しました。現在は大分県内で多くのフィリピン人が正社員として働いています。

1995年から現在まで恵まれない人々の生活改善を目指して様々な活動を行って参りましたが、どれも私一人では到底不可能でした。人と人が手を携える事でより大きな力となり、より多くの方を助ける事が出来ます。疫病や気候変動など厳しい時代だからこそ、人の繋がり、心の繋がり、人種を超えた助け合いがより大事になって来ると思ひます。「one heart」全ての人が心を一丸にして明るい未来を拓いていけるよう、これからも励んで参ります。

大分県フィリピン友好協会
会長 吉武 ロドラ

乾杯のご発声

誠にもって僭越ではございますが、ご指名によりましてお勤め果たさせていただきます。

まず受賞された皆様方、本当におめでとうございます。

私たち選考委員一堂、いつも皆様方の多岐にわたる国の内外を問わず、それから人間の老若男女を問わず、しかも動物も植物も生きとし生けるものを、本当にすべての生命と、それから暮らしと心とそして未来を守ってくださっている活動に接する度に、大きな励ましと希望をいただいております。このことは本当に敬意をもって感謝を申し上げたいと思います。ありがとうございます。

ここで忘れてはいけない、お伝えしなければならないことがございまして、今日は残念ながら出席できませんでした内館委員長から「忘れるな!」といわれております。

今日の皆様方の賞金は是非皆様自身のために使ってくださいということでございます。これは曾野綾子会長からずっと受け継がれて、ここではお伝えする“マスト”なこととなっております。やはり、共に活動してきた方々が一緒にこの一年を振り返り、ちょうど12月でもありますし、一緒に美味しいものを食べて、そして一緒に飲んでいろいろなことを語ってそれが大きなエネルギーになるのだろーと思います。食べて語るといことは人の気持ちを前に向かせてくれますし、いろいろな力を与えてもらえるものと思っております。

日本の場合はどうしても「あ、あんなところでご飯食べてる」とか、白い目で見られてしまうのでは、ということがあるのではないかと思います。その流れこそ変えてもらいたいなと思います。奉仕は減私ではないので、ぜひ明日のエネルギーをチャージするためにお使いいただければと思います。

乾杯の準備も整っております。こういうのは早い方が良いと言われておりますので、乾杯に移りたいと思います。

今日はサッカーがありますね。本当にスポーツって凄いなと思いました。スペインとドイツに勝って日本中が大喜びして明るい雰囲気になりました。勝ったということも嬉しかったのですけれども、日本人のサポーターがその場所をきれいに清掃して、



(選手は)使ったロッカーをきれいに片付けて、そればかりか折鶴まで置いて帰ったということが世界中に伝えられました。それが世界に広がりみんなが片付けをするようになったとのこと。今年一年、悲しいことや辛いこと、戦争もありました。そのなかで暗い連鎖がどこまで続くのだろうと思った時に、こういう明るいことが世界に広がっていく、人間の持っている根本的な優しさとか温かさとか、感謝の気持ちが「ありがとう」という日本語とともに伝わっていったことが勝敗を越えて何よりも嬉しい出来事だったと思っております。

それでは、皆様が来年度も元気で力強く活動を続けてくださいますこと、そしてご臨席の皆様方のご健康を心より祈念しまして杯を挙げたいと思います。力強くご唱和いただければと思います。

乾杯！

選考委員 吉永 みち子

祝賀会









受賞者手記目次

第58回社会貢献者表彰 受賞者29組（敬称略）

一般社団法人 愛媛県摂食障害支援機構	032
公益社団法人 ア・ドリーム ア・デイ IN TOKYO	034
佐伯 昭夫	036
NGO ベトナムの子ども達を支援する会	038
更生保護法人 しらふじ	040
BLT 子ども食堂	042
NPO 法人 さくらねうねう	044
更生保護法人 旭川保護会	046
NPO 法人 札幌微助人倶楽部	048
NPO 法人 グラウンドワーク三島	050
認定 NPO 法人 シェア＝国際保健協力市民の会	052
大分県フィリピン友好協会	054
社会福祉法人 旭川いのちの電話	056
NPO 法人 日本こども支援協会	058
NPO 法人 聖母	060
NPO 法人 DAREDEMO HERO	062
テキスト訳グループ「あいフレンド」	064
ガイドボランティアサークル「風車」	066
架け橋 長島・奈良を結ぶ会	068
グリーフサポートやまぐち	070
NPO 法人 Trellis	072
一般社団法人 kuriya	074
窪田 祥吾	076
山崎 浩	078

日光茅ポッチの会	080
NPO 法人 丹波漆	082
株式会社 ヒューマン・コメディ	084
森下 誠	086
四国八十八ヶ所へんろ小屋プロジェクト	088



